

子育て支援コーナー

なかよし保育園子育て支援センター(☎96-4551・FAX22-9881)

★親子教室

- 1歳6カ月～2歳5カ月 6日(火)
- 2歳6カ月以上 20日(火)・27日(火)

★すくすく赤ちゃん

- ネンネ・寝返りグループ 1日(木)
- ハイハイ・ヨチヨチグループ 15日(木)・22日(木)

★ツインズ・デー 16日(金)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要

★料理教室 ●離乳食中期 8日(木) ●幼児食 13日(火)

定員5名程度(要予約 先着順) 持ち物:エプロン・三角巾
いずれも午前10時～11時30分 費用無料

市子育て支援センター(はまなす保育所内☎・FAX24-1260)

★あそびの広場

年齢別グループで、ふれあい遊び・工作などを行います。
指導員と一緒に親子で楽しく遊ばせませんか。

- 0歳～1歳半 9日(金)・23日(金)
- 1歳半～2歳 2日(金)・16日(金)・30日(金)
- 2歳～2歳半 7日(水)・21日(水)
- 2歳半～3歳 14日(水)・28日(水)
- 3歳～3歳半 6日(火)・20日(火)
- 3歳半以上 13日(火)・27日(火)

★ミニシアター 29日(木)

いずれも午前10時～11時 費用無料、申し込み不要
(受付時間は午前9時30分～9時50分)

中央児童館(☎・FAX23-7406)

★親子体操教室・パネルシアター 10日(土) 午前10時～11時

対象:小学生以下親子 費用無料、申し込み不要

河北子育て支援センター(飯野川保育所内☎61-1601・FAX62-2359)

★あそびのひろば

子育て支援センターにきて親子で楽しく遊んだりお母さん
同士で子育てについて話し合ったりしてみませんか?

7日(水) 栄養指導(栄養士の講話)

14日(水) すこやか親子クッキング(要参加申し込み8日まで)

※この他にも、月・水・木曜日に楽しい遊びを用意しています。
遊びに来てね!!(利用時間は、午前10時～11時30分)

★子育てひろば 地域に向かっています

<今月の予定>

(時間は午前10時～11時30分) 保育士と一緒に遊ばしましょう。

簡単おやつ作りや栄養士による栄養指導

6日(火) 沢田崎山・川の上・後谷地(川の上構造改善センター)

9日(金) 吉野岩崎・本地新田(新田交流会館)

20日(火) 中島上・下・中野・牧野・皿貝・馬鞍(馬鞍老人憩の家)

23日(金) 飯野川町区(河北子育て支援センター)

27日(火) 北境・東福田(二俣保育所)

30日(金) 五十五人・鶴家(鶴家公民館)

子育てアドバイス 6 ★★★★★

明日 天気になあれ!!

石巻市立門脇保育所長 久道 由美子

6月はあめ(梅雨)の季節。少し心が沈みます。でもこの雨は、
元気な夏の太陽をいざないます。ポトッ!ポトッ!ポトツッ ポ
トーン!!赤ちゃんのお部屋では、少し早めの給食の時間です。
離乳を始めたばかりの子。もうすぐ離乳完了の子。一人ひとりの
成長と状況に合わせた離乳食が子どもたちの口に運ばれます。
すっぱい顔・にがい顔・あまい顔・???の顔。保育所では、
離乳は家族(主に母親)とともに進めています。個別的に子ども
の成長を確かなものとして気づき共有できるよう、情報を発信
しています。

10年ほど前、ごはんもおかずもさらにおやつさえ興味を示さ

以上の地区に伺いますので多くの方の参加をお待ちしています。
(参加申し込みは、保健推進員または河北子育て支援センター
までお願いします)

河南子育て支援センターパプラ(☎・FAX72-4670)

★わいわいサロン

(2名の指導員と親子で遊びましょう。申し込みは不要です。)
農村環境改善センター2階(パプラ)
午前9時30分～11時30分

● 0・1歳親子 6日(火) 染め紙あそび

13日(火) はみがきのお話(松島医療生協)

20日(火) 絵本の読み聞かせ 27日(火) 七夕飾りをつくろう

● 2歳以上親子

1日(木) サロントーキング 8日(木) 染め紙あそび

15日(木) おばあちゃんの読み聞かせ

22日(木) はみがきのお話(松島医療生協)

29日(木) 七夕飾りをつくろう

親子の上靴・飲み物・着替えなどをお持ちください。

★でんわ相談・来所相談・・・ひとりで悩まないで!

★サークル活動支援(月・水・金曜日)

★スクエア子育て広場『いも植え会』のご案内

今年も『さつまいものオーナー』を募集します。スクエア
会員以外でも、栽培や収穫の楽しさを親子で味わいたい方は、
ぜひ、ご参加ください。

とき 6月4日(日) 午前10時45分受付開始

ところ 旭山農業体験実習館 コロボックルハウスの農園

内容 さつまいもの苗を植える

参加費 1家族1うね 600円

持ち物 移植ベラ、軍手、長靴など

申込方法 会費を添えて、6月2日(金)まで申し込み〔先着60組〕

桃生地区子育て支援事業(桃生保健センター☎76-3360)

★遊びの広場

ところ 桃生保健センター 7日(水)、21日(水)、28日(水)

ところ 桃生文化交流会館(☎76-3418)

3日(土)、10日(土)、17日(土)、24日(土)

※いずれも午前9時30分から

★親と子の遊びの広場出前事業

ところ 桃生文化交流会館 とき 27日(火) 午前9時30分～

★子育て電話相談 1日(木) ☎76-3360

対象者 どなたでもご相談できます。

相談内容 子育てに関すること

北上地区ひまわり子育て支援(北上保健センター☎67-2301)

★ひまわりキッズ 午前10時～正午

ところ 北上保健センター 7日(水)、14日(水)、21日(水)、28日(水)

ず、給食は苦痛でしかない子と出会いました。さまざまな事情
で離乳が完成されなかったのでしょうか。空腹を満たすのは牛乳
だけでした。お腹が満たされても、心はいっぱいにならなかつ
たのでしょうか。家族と保育士は、その子が安心して過ごせる
「空間と時間」をつくり、ゆっくりと辛抱強く関わっていきま
した。「食べる」事を強要せず、人との関わりの中で心が満
たされ、自然に「食べる」事に関心・意欲を見せるようになり
ました。弱く小さかったその子も、現在(いま)では、たくま
しいスポーツ選手に成長しました。

【食育】の大切さが社会的に認知されてきている昨今、「食」はす
べての源。身体的にも精神的にも欠くことのできない大切なも
の。子どもたちの明るい明日(未来)がきっと晴れることを願い、
子どもたちにはよりよい「食」との出会いをさせたいものです。

表紙から

青空が広がり、新緑が気持ちのいい5月9日、
市営上品山放牧場で恒例の牛の入牧が行われま
した。放牧される44頭は、待ちかねていたよ
うに元気に青草を食べていました。関係者は、
退牧する11月までの牛たちの大きな成長を楽
しみにしていました。(シュウ)

編集後記

今年度から市報を担当することになりました。いざ記事を書いて
みると回りくどくなったり簡潔すぎたりで、言葉で表現すること
って難しいものなのだなと思いました。まだまだ不慣れで読みにくい
ところもあると思いますが、少しでも多く地域の旬な話題を掲載で
きるようとしどしど取材に出かけますので、ご指導のほか情報提供に
ついてはよろしくお願いいたします!(小)

石巻の人口と世帯数

平成18年5月1日現在
()内は昨年同月比

81,988人 (-802人)	87,505人 (-812人)
169,493人 (-1,614人)	59,358世帯(+405世帯)

(文化財) たんぽう

⑮

海蔵庵板碑群(石巻市指定文化財)

石巻市文化財保護委員 茂木 好光

平成十八年四月に石巻市指定文化財になった旧河北町尾崎の海蔵庵板碑群を紹介いたします。この板碑群は、北上川が流れ込む追波湾の河口付近の長面浦を見下ろす急斜面にあり、曹洞宗海蔵庵の裏山にあたります。板碑は亡くなった人を供養するために作られた石塔婆で、梵字・年号・供養者名などが刻まれ、石巻地方では井内石を使っています。

地元でも天井石をもち「ほこら」状の「よりともし」様とよばれていた、鎌倉時代後半・弘安十年(一二八七)の大型板碑がよく知られていました。

平成十年に急傾斜地防災工事の際に、宮城県文化財保護課が発掘調査を行いました。その結果、鎌倉時代後半から室町時代前半・文安四年(一四四七)までの百基以上の板碑が、当時のほぼ原位置で、一部は立ったままの状態が発掘され、「よりともし」様を筆頭に三段にわかれて斜面の下から順番に造られ、板碑群が横一列に長面浦に面していたと考えられました。また、小さな袋と漆塗木箱に埋納されたと思われる火葬骨や、壁に掛けていたかと思われる穴のある平安末の銅鏡が発見されました。板碑の文字部分には金箔が残っており、当時は太陽の光に輝いていたことと推測されました。当時のまま現在にのみがえった遺跡は数少なく稀で、全国的にも貴重な調査になり、多くの研究者が見学に来ました。その



移築保存後の現在

移築保存後の「よりともし」様



移築前の「よりともし」様



発掘状況

宮城県文化財報告書第180集 海蔵庵板碑群より転載



中央部にある数箇所の白い点か金箔

後、旧桃生郡河北地区教育委員会が石材店に依頼し、地元の方々の協力を得て移築保存することができました。この遺跡は、中世の寺院と板碑群が一体となって約百六十年間営まれ、長面浦を支配した有力な経済基盤を持った集団が存在していたことを現在に伝えていいます。また、全国的にも類例がなく、独特の「ほこら」状の形をした「よりともし」様は、鎌倉周辺に多くみられる「やぐら」を意識したものという指摘もあります。宮城県内でも中世遺跡として、松島、仙台市岩切、青葉山・経ヶ峰、名取市高館熊野堂に代表される霊場がありますが、宮城県の東方にある長面浦のすばらしい風景を見下ろす「聖なる地」の海蔵庵板碑群を後世へ残していきたいと思えます。

健康コラム

在宅医療の

社会的背景



市立病院 内科部長 (在宅療養科) 佐藤 保生

在宅医療の必要性が声高に唱えられるようになり、20年近く前からかわってまいりましたが、感慨深いものがあります。現場にいると高齢社会が急速に進行しているのが分かります。私が子どものころと比べると、祖母の世代に曾祖父父母の世代が上乘せされたような印象があります。高齢者層の拡大に伴い通院困難な患者さんたちが多数生まれました。自力では移動できない患者さんを介助して通院するのは、家族にとって大きな負担です。それから家族に一世代加わったにもかかわらず、家族の方は核家族化が進み、家族数が減ってしまいました。以前は家庭をしっかりと支えていた女性たちが、社会進出を果たしたことも、家族の力の弱体化を招きました。以上のような要因が重なって、家族の介護力は小さくなってしまいました。そこで通院困難な患者さん

たちが医療から脱落してしまうことを防ぐために、新たな仕組みが模索されてきました。それが訪問診療を基盤にした在宅医療の展開です。これに訪問看護、ヘルパーによる家事や介護の手伝い、ケアマネージャーや保健師による支援等が加わり多面的に患者さんや家族を支えています。そのベースになっているのが介護保険です。患者さんの自宅に浴槽を持ち込んでの入浴サービスを、初めて見たときは感激しました。点滴のチューブを濡れないように工夫しながらの入浴も、体内埋め込み式の器具が開発されて健康人の入浴と変わらないものになりました。医療と福祉サービスがうまく結びついて、患者さんに快適さを提供できるようになりました。在宅医療は病院や診療所の医療を補完するものとして、今後更に重要なものとなっていくでしょう。

石巻市立病院